

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-278263

(43)Date of publication of application : 06.10.2000

(51)Int.Cl.

H04L 12/18
G06F 17/30

(21)Application number : 11-086059

(71)Applicant : NISINIPPON NEWSPAPER CO

(22)Date of filing : 29.03.1999

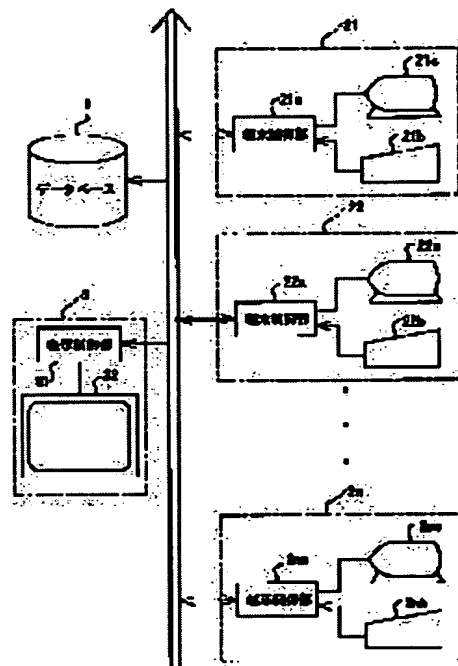
(72)Inventor : KONO YUKIO
YOSHIDA TADAO
TOKUYASU ISAO
KAWASHIMA SUEFUMI

(54) CONFERENCE SUPPORT SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a conference support system where a conference participant selects any of a plurality of paper materials relating to the conference and browses it individually and independently and also all conference participants can browse the paper materials in common.

SOLUTION: A plurality of terminals 21,..., 2n utilize a database stored in a storage means 1 as a common database, and a terminal specified as a management means controls the common database to display it on each display device 3 for conference participants operating a plurality of the terminals 21,..., 2n so as to allow each conference participant to display individually and independently an optional paper material in the database on each terminal and the same paper material in the database can be displayed so that all conference participants can browse the material.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

11.04.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-278263

(P2000-278263A)

(43)公開日 平成12年10月6日(2000.10.6)

(51)Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テ-マ-ト*(参考)

H 0 4 L 12/18

H 0 4 L 11/18

5 B 0 7 5

G 0 6 F 17/30

G 0 6 F 15/40

3 1 0 F

5 K 0 3 0

9 A 0 0 1

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平11-86059

(22)出願日 平成11年3月29日(1999.3.29)

(71)出願人 599041891

株式会社西日本新聞社

福岡県福岡市中央区天神1丁目4-1

(72)発明者 河野 行雄

福岡県福岡市中央区天神1丁目4-1 株
式会社西日本新聞社内

(72)発明者 吉田 忠男

福岡県福岡市中央区天神1丁目4-1 株
式会社西日本新聞社内

(74)代理人 100099634

弁理士 平井 安雄

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 会議支援システム

(57)【要約】

【課題】 会議参加者が会議に関する複数の資料を選択して個別独立して見ることができると共に会議参加者全員が資料を共通して見ることができる会議支援システムを提供する。

【解決手段】 記憶手段1に格納されるデータベースを複数の端末装置21、・・・、2nが各々共通のデータベースとして利用し、管理手段として特定された端末装置が複数の端末装置21、・・・、2nを操作する会議参加者に前記共通のデータベースを表示装置3に表示する制御を行うことにより、各会議参加者がデータベース中の任意の資料を個別独立して端末手段に表示できると共に、会議参加者の全員が見えるようにデータベース中の同一の資料を表示手段に表示できる。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 会議に関連する資料を含むデータベースを格納する記憶手段と、

前記記憶手段に対してアクセスして所定のデータベースを讀出すと共に、この讀出されたデータベースを選択的に表示する動作を制御する複数の端末手段と、前記記憶手段に格納されるデータベースの内容を表示して前記複数の端末手段を操作する会議参加者に共通して示す表示手段とを備え、

前記複数の端末手段のうち一つを管理手段として特定し、当該管理手段により前記表示手段の表示を制御することを特徴とする会議支援システム。

【請求項 2】 共通のデータベースが各々格納され、当該データベースを讀出してデータベースを選択的に表示する動作を制御する複数の端末手段と、

前記記憶手段に格納されるデータベースの内容を表示して前記複数の端末手段を操作する会議参加者に共通して示す表示手段とを備え、

前記複数の端末手段のうちの一つを管理手段として特定し、当該管理手段により前記表示の表示を制御することを特徴とする会議支援システム。

【請求項 3】 前記請求項 1 又は 2 に記載の会議支援システムにおいて、

前記端末手段を操作する会議参加者の判断結果が各端末手段から前記管理手段に入力され、当該管理手段が入力された各判断結果から予め設定された決定基準に基づいて議決を行うことを特徴とする会議支援システム。

【請求項 4】 前記請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の会議支援システムにおいて、

前記端末手段がデータベースを表示する内容及び／又は順序の各データを議事録として前記各端末手段又は管理手段が管理及び／又は保存することを特徴とする会議支援システム。

【請求項 5】 前記請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の会議支援システムにおいて、

前記記憶手段又は各端末手段に格納されるデータベースが同一の議事案件又は類似する議事案件について複数存在する場合には、複数のデータベースの各内容を各々比較し、当該比較結果を各端末手段に表示できるようにすることを特徴とする会議支援システム。

【請求項 6】 前記請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載の会議支援システムにおいて、

前記表示手段が端末手段における表示部の画面領域中に表示されるように構成されることを特徴とする会議支援システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明に係る会議支援システムは、共通の事案について複数の会議参加者が審議する際に各会議参加者に対して参考となる資料を提示して当

該事案に対する賛否の判断及び議事録作成等を支援する会議支援システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、この種の会議支援システムはテレビ会議システム、OHP (Over Head Projector) を用いた会議システム等がある。この OHP を用いた会議システムは、会議の事案に関する各種データを透明シートに文字・図形として記載し、この透明シートに記載された文字・図形を投射機によりスクリーン上に投影して会議の複数の会議参加者に各種データを視覚的に提示し、この複数の会議参加者が会議の事案を判断するに当たって支援する構成である。

【0003】 また、前記テレビ会議システムは、複数の会場を電話回線等で接続し、この会場に参加した会議参加者及び会議の事案に関する各種データの内容をモニターテレビに映し出し、会議参加者相互間でディスカッションを行って会議を進行する構成である。複数の地点を電話回線等により接続しているため、遠隔地との間で実際の会議と同じように議事の進行が可能となる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 従来の会議支援システムは以上のように構成されていたことから、OHP を用いたシステムの場合は、会議参加者が会議に関するデータを OHP にて全員が見ることができ、各々の会議参加者が複数のデータのうちの任意のものを個別独立して参照又は確認することができないという課題を有する。また、会議を始める前に予め会議に関するデータを検討又は分析するためには、OHP の透明シートに記載される内容の印刷物を別途配布する必要がある。

【0005】 また、テレビ会議システムにおいては、モニターテレビには会議参加者の映像と共に、会議参加者の中の説明者（又は司会者）が解説する内容を表示することができ、説明者以外の参加者が会議に関する他のデータを個別独立にモニターテレビに映し出すことができないという課題を有する。さらに、従来の会議支援システムは会議の始まりから終了するまでの議事録を会議参加者以外の秘書等が速記等により記録し、後にこれを整理して保存しなければならないという課題を有する。

【0006】 本発明に係る会議支援システムは、前記課題を解消するためになされたもので、会議参加者が会議に関する複数の資料を選択して個別独立して見ることができると共に会議参加者全員が資料を共通して見ることができる会議支援システムを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明に係る会議支援システムは、会議に関連する資料を含むデータベースを格納する記憶手段と、前記記憶手段に対してアクセスして所定のデータベースを讀出すと共に、この讀出されたデータベースを選択的に表示する動作を制御する複数の端

末手段と、前記記憶手段に格納されるデータベースの内容を表示して前記複数の端末手段を操作する会議参加者に共通して示す表示手段とを備え、前記複数の端末手段のうち一つを管理手段として特定し、当該管理手段により前記表示手段の表示を制御するものである。このように本発明においては、記憶手段に格納されるデータベースを複数の端末手段が各々共通のデータベースとして利用し、管理手段として特定された端末手段が複数の端末手段を操作する会議参加者に前記共通のデータベースを表示手段に表示する制御を行うことにより、各会議参加者がデータベース中の任意の資料を個別独立して端末手段に表示できると共に、会議参加者の全員が見えるようにデータベース中の同一の資料を表示手段に表示できる。

【0008】また、本発明に係る会議支援システムは必要に応じて、共通のデータベースが各々格納され、当該データベースを讀出してデータベースを選択的に表示する動作を制御する複数の端末手段と、前記記憶手段に格納されるデータベースの内容を表示して前記複数の端末手段を操作する会議参加者に共通して示す表示手段とを備え、前記複数の端末手段のうちの一つを管理手段として特定し、当該管理手段により前記表示の表示を制御するものである。このように本発明においては、各端末手段に格納される共通のデータベースを各端末手段が各表示部に個別独立して表示し、管理手段として特定された端末手段が複数の端末手段を操作する会議参加者に前記共通のデータベースを表示手段に表示する制御を行うことにより、各会議参加者がデータベース中の任意の資料を個別独立して端末手段に表示できると共に、会議参加者の全員が見えるようにデータベース中の同一の資料を表示手段に表示できる。

【0009】また、本発明に係る会議支援システムは必要に応じて、端末手段を操作する会議参加者の判断結果が各端末手段から前記管理手段に入力され、当該管理手段が入力された各判断結果から予め設定された決定基準に基づいて議決を行うものである。このように本発明においては、管理手段が決定基準に基づいて各端末手段から入力される各会議参加者の判断から議決を行うようにしているので、画一的で公平な議決を迅速に行うことができる。

【0010】また、本発明に係る会議支援システムは必要に応じて、端末手段がデータベースを表示する内容及び／又は順序の各データを議事録として前記各端末手段又は管理手段が管理及び／又は保存するものである。このように本発明においては、各端末手段の各議事録に関するデータを端末手段又は管理手段が管理・保存するようにしているので、会議参加者以外の秘書等が別途に速記等をとる必要がなくなり、会議に関与した会議参加者の議事録を電子化されたデータとして保存することができる。

【0011】また、本発明に係る会議支援システムは必要に応じて、記憶手段又は各端末手段に格納されるデータベースが同一の議事案件又は類似する議事案件について複数存在する場合には、複数のデータベースの各内容を各々比較し、当該比較結果を各端末手段に表示できるようにするものである。このように本発明においては、格納される複数のデータベース相互を比較して比較結果を各端末手段の表示部に表示するようにしているので、データベース相互間で相違が有る場合にこれを表示して各会議参加者に報知できることとなり、データベース相互間の矛盾を考慮して議事案件をよりの確に審議できる。

【0012】本発明に係る会議支援システムは必要に応じて、表示手段が端末手段における表示部の画面領域中表示されるように構成されるものである。このように本発明においては、端末手段の表示部における画面領域の一部又は全部を表示手段とすることにより、各会議参加者が自己の端末手段の表示部で共通表示と個別表示とを行えることとなり、議事案件の審議をより迅速且つ正確にできる。

【0013】

【発明の実施の形態】（本発明の第1の実施形態）以下、本発明の第1の実施形態に係る会議支援システムを図1ないし図3に基づいて説明する。この図1は本実施形態に係る会議支援システムの概略ブロック構成図、図2は図1記載の会議支援システムにおける会議の審議動作フローチャート、図3は図1に記載の会議支援システムにおける会議の議決動作フローチャートを示す。

【0014】前記各図において本実施形態に係る会議支援システムは、データベースを格納する記憶手段1と、前記記憶手段1に対してアクセスして所定のデータベースを讀出すと共に、この讀出されたデータベースを選択的に表示する動作を制御する複数の端末装置21、・・・、2nと、前記記憶手段1に格納されるデータベースの内容を表示して前記複数の端末装置21、・・・、2nを操作する会議参加者に共通して示す表示装置3とを備え、前記複数の端末装置21、・・・、2nのうち一つを管理装置として特定し、当該管理装置により前記表示装置3の表示を制御する構成である。

【0015】前記端末装置21（又は22、・・・、2n）は、装置全体を演算制御する端末制御部21a（又は22a、・・・、2na）と、この端末制御部21a（又は22a、・・・、2na）に対して各種指令を会議参加者が入力するキーボード21b（又は22b、・・・、2nb）と、前記入力に基づいて端末制御部21a（又は22a、・・・、2na）により各種データを表示する表示部21c（又は22c、・・・、2nc）とを備える構成である。この端末制御部21a（又は22a、・・・、2na）は、予め作成された決定基準値と議決基準値とを有し、この決定基準値に基づいて各議

事項目の集計結果とを比較して比較結果データを作成し、この比較結果データを議決基準値に基づいて比較して議決を行う機能を有する構成である。前記表示装置3は、前記管理装置からの要求により表示を制御する表示制御部31と、この表示制御部31の制御によりデータベースの内容を表示する表示画面32とを備える構成である。

【0016】次に、前記構成に基づく本実施形態の議事進行動作を審議動作と議決動作とに分けて説明する。まず、前記審議動作については、図2に示すように会議全体を管理する会議管理者がシステム全体を起動させ（ステップ1）、各端末装置21、・・・、2nの内部メモリ（図示を省略）へ本会議に関連するデータベースをダウンロードする（ステップ2）。

【0017】このデータベースが各々ダウンロードされた各端末装置21、・・・、2nのうち前記管理者が操作する装置を管理装置として選定（例えば、端末装置21を選定）する（ステップ3）。この管理装置としての端末装置21による会議全体を統括管理動作とは別途に、各端末装置21、・・・、2nは内部メモリにダウンロードされたデータベースを個別独立に選択し、またこれを表示部21c、・・・、2ncに表示させる（ステップ4）。

【0018】従って、本会議に関連する各種のデータに基づく資料を印刷等した用紙が各会議参加者に配布されることなく、この選択されたデータベースの内容を表示した表示部21c、・・・、2ncを各々の会議参加者が見てその内容を会議が始まる前に個別独立して検討できる。この検討により本会議に関連するデータベースの内容を熟知した状態で会議に臨むことができることとなる。

【0019】本会議の会議管理者が管理装置である端末装置21を操作し、他の端末装置22、・・・、2nを操作する会議参加者との間で議事を進行していくこととなる（ステップ5）。この議事進行中に会議管理者が会議参加者全員にデータベースの内容を示して説明する場合には、管理装置である端末装置21から表示装置3に対しその内容を表示させる（ステップ6）。

【0020】また、端末装置21、・・・、2nを操作する会議参加者からデータベースの表示要求が有るか否かを判断し（ステップ7）、表示要求が有ると判断された場合には前記ステップ4に戻りこのステップ4からステップ7までの動作を繰り返すこととなる。前記ステップ7において各端末装置21、・・・、2nから表示要求がないと判断された場合には、各端末装置21、・・・、2nのキーボード21b、・・・、2nbを操作して本会議の議事項目に対して賛否の判断を行う（ステップ8）。

【0021】さらに、本会議の議事項目総てについて判断がなされたか否かを判断し（ステップ9）、総ての議

事項目について判断がなされていないと判断された場合には前記ステップ4に戻り前記と同様な動作を繰り返すこととなる。前記ステップ9において総ての議事項目について判断がなされたらと判断された場合には、本会議の審議動作を終了する。

【0022】次に、議決動作については、図3に示すように審議動作で実行された各端末装置21、・・・、2nからの各判断が入力される（ステップ10）。この管理装置としての端末装置21は、総ての端末装置21、・・・、2nから前記判断データが入力されているか否かを判断し（ステップ11）、入力されていないと判断された場合には再度ステップ10に戻り前記動作を繰り返すこととなる。

【0023】前記ステップ11で総ての端末装置21、・・・、2nから判断データが入力されたらと判断された場合には、管理装置である端末装置21は判断データの各議事項目毎に集計し（ステップ12）、この集計された各議事項目毎の集計結果と予め設定された決定基準値とを比較演算し（ステップ13）、一致又は不一致の数を比較結果データとし、この比較結果データに基づいて議決を行う（ステップ14）。この議決は予め設定された議決基準値と比較結果データとを比較することにより決定されることとなる。

【0024】なお、前記決定基準値、議決基準に基づいて議決を行う場合には、全会一致、過半数、三分の二以上、その他任意の割合の賛成・反対・棄権等に基づいて行うことができる。また、決定基準値に対応する各会議参加者の判断内容だけを集計・保存・表示することとし、議決基準に対応する議決自体は行わない構成とすることができる。例えば、意識調査等に対する検討を加える場合である。また、株主総会等で、持ち株で議決権の重みが違う場合に各議決権の各判断データに重み付けを加えることができる。例えば、一人一人の判断に点数を付けてこの点数の集計結果により議決することができる。

【0025】また、多数決ではなく、特定の会議参加者の判断内容が、最終議決結果となるように構成することもできる。また、各会議参加者の判断内容を他の会議参加者に通知する場合と通知しない場合とで構成することもできる。また、YES/NOの択一方式だけではなく、記述式の判断内容を受け取り、それを結果として保存する構成とすることもできる。例えば、企画会議の場合などがある。

【0026】（本発明の他の実施形態）前記図1ないし図3に記載の実施形態に係る会議支援システムにおいては複数の端末装置21、・・・、2nのうち任意の一つを管理装置として選定する構成としたが、前記複数の端末装置21、・・・、2nとは別途に会議全体を統括管理のみを専用に実行する管理装置を設ける構成とすることもできる。

【0027】また、前記各実施形態に係る会議支援システムが議決動作まで予め設定された決定基準値、議決基準値に基づいて議決を行うシステム構成としたが、審議動作までを実行するシステム構成とし、この審議により得られる判断データに基づいて総ての会議参加者が実際の協議により議決する構成とすることもできる。また、前記各実施形態に係る会議支援システムの議事動作に加え前記端末装置 21、・・・、2n がデータベースを表示部 21c、・・・、2nc に表示する内容及び／又は順序の各データを議事録として前記各端末装置 21、・・・、2n 又は管理装置が管理及び／又は保存する構成とすることもできる。

【0028】また、前記各実施形態に係る会議支援システムの議事進行動作に加え、記憶手段 1 又は各端末装置 21、・・・、2n に格納されるデータベースが同一の議事案件又は類似する議事案件について複数存在する場合には、複数のデータベースの各内容を各々比較し、当該比較結果を各端末装置 21、・・・、2n に表示する構成とすることもできる。この表示形態を他の表示形態と異なる方法で表示することもできる。例えば、表示色を異ならせる表示、又は点滅の表示等により他の表示と異ならせる表示とすることにより、他の表示部分と明確に区別ができるように注意を喚起できることとなる。

【0029】また、前記各実施形態に係る会議支援システムにおいては、会議参加者の総てが共通して表示する表示装置 3 を各端末装置 21、・・・、2n の表示部 21c、・・・、2nc とは別途に設ける構成としたが、前記表示装置 3 を設けることなく、表示部 21c、・・・、2nc の各画面領域を図 4 (A)、(B) に示すように会議参加者が個別独立に任意に表示内容を選択して表示できる個別表示領域 210 と、会議参加者全員が同一の表示内容を共通して見ることができる共通表示領域 220 とを備える構成とすることもできる。特に、図 4 (B) の場合には、共通の表示領域 220 を個別表示領域 210 の一部を覆うように前面側に表示し、各会議参加者が審議に強制的に加わるように注意を促すこともできる。

【0030】また、会議開始の前に会議参加者が議題に関する個人の判断を入力しておき、会議開始時にそれを集計し、ある一定の基準値であれば、自動的に最終議決結果を設定する方式も考えられる。これらによって議案そのものの件数を減らすことができる。また、管理装置を固定せずに、必要に応じて任意の端末が管理装置の機能を実行することも考えられる。管理装置が不意の故障の場合でも、他の端末で管理機能が代用できることにより、バックアップ機能を併せ持つことができる。また、接続の形態として、LAN 経由の機能だけでなく、WAN (電話回線) 経由の遠隔会議で行うことも考えられる。

【0031】

【発明の効果】本発明においては、記憶手段に格納されるデータベースを複数の端末手段が各々共通のデータベースとして利用し、管理手段として特定された端末手段が複数の端末手段を操作する会議参加者に前記共通のデータベースを表示手段に表示する制御を行うことにより、各会議参加者がデータベース中の任意の資料を個別独立して端末手段に表示できると共に、会議参加者の全員が見えるようにデータベース中の同一の資料を表示手段に表示できるという効果を有する。

【0032】また、本発明においては、各端末手段に格納される共通のデータベースを各端末手段が各表示部に個別独立して表示し、管理手段として特定された端末手段が複数の端末手段を操作する会議参加者に前記共通のデータベースを表示手段に表示する制御を行うことにより、各会議参加者がデータベース中の任意の資料を個別独立して端末手段に表示できると共に、会議参加者の全員が見えるようにデータベース中の同一の資料を表示手段に表示できるという効果を有する。

【0033】また、本発明においては、管理手段が決定基準に基づいて各端末手段から入力される各会議参加者の判断から議決を行うようにしているので、画一的で公平な議決を迅速に行うことができるという効果を有する。

【0034】また、本発明においては、端末手段の各議事録に関するデータを端末手段又は管理手段が管理・保存するようにしているので、会議参加者以外の秘書等が別途に速記等をとる必要がなくなり、会議に関与した会議参加者の議事録を電子化されたデータとして保存することができるという効果を有する。

【0035】また、本発明においては、格納される複数のデータベース相互を比較して比較結果を各端末手段の表示部に表示するようにしているので、データベース相互間で相違が有る場合にこれを表示して各会議参加者に報知できることとなり、データベース相互間の矛盾を考慮して議事案件をよりの確に審議できるという効果を有する。

【0036】さらに、本発明においては、表示手段が端末手段における表示部の画面領域中に表示されるように構成されるものである。このように本発明においては、端末手段の表示部における画面領域の一部又は全部を表示手段とすることにより、各会議参加者が自己の端末手段の表示部で共通表示と個別表示とを行えることとなり、議事案件の審議をより迅速且つ正確にできるという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の第 1 の実施形態に係る会議支援システムの概略ブロック構成図である。

【図 2】図 1 記載の会議支援システムにおける会議の審議動作フローチャートである。

【図 3】図 1 に記載の会議支援システムにおける会議の

議決動作フローチャートである。

【図4】本発明の他の実施形態に係る会議支援システムの表示部における個別表示領域及び共通表示領域の概略構成図である。

【符号の説明】

1 記憶手段

3 表示装置

21、・・・、2n 端末装置

21a、・・・、2na 端末制御部

21b、・・・、2nb キーボード

21c、・・・、2nc 表示部

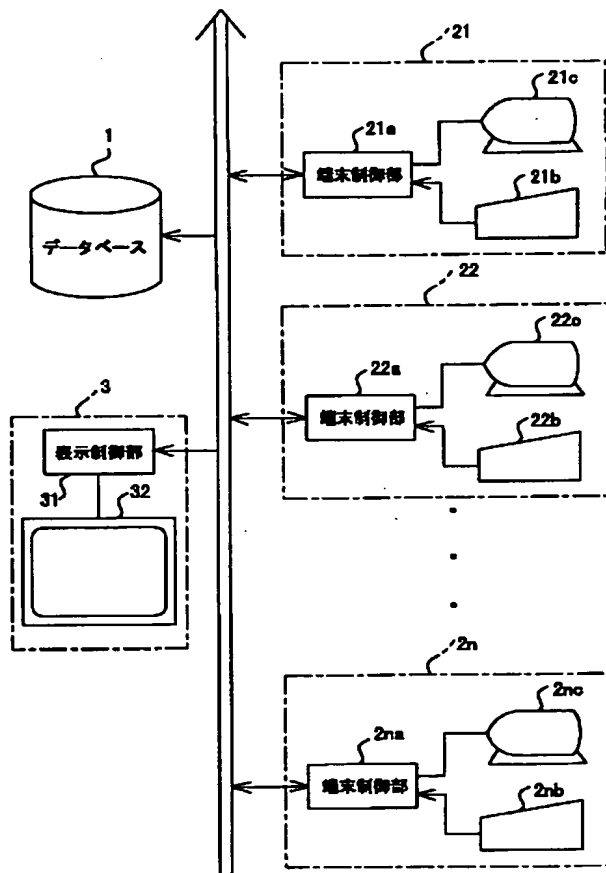
31 表示制御部

32 表示画面部

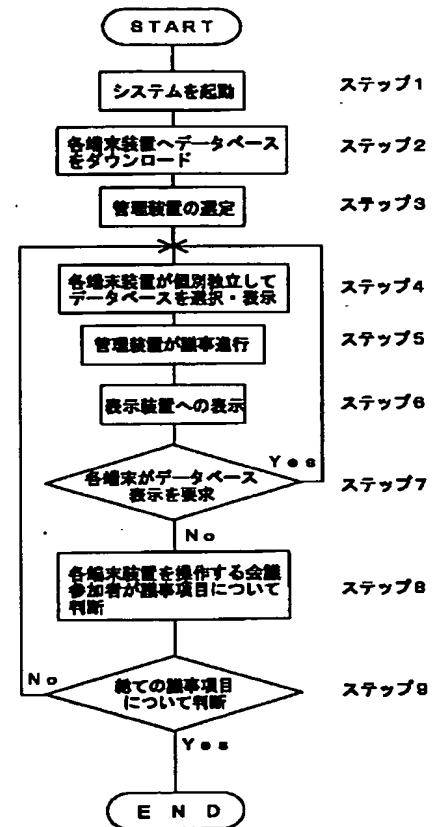
210 個別表示領域

220 共通表示領域

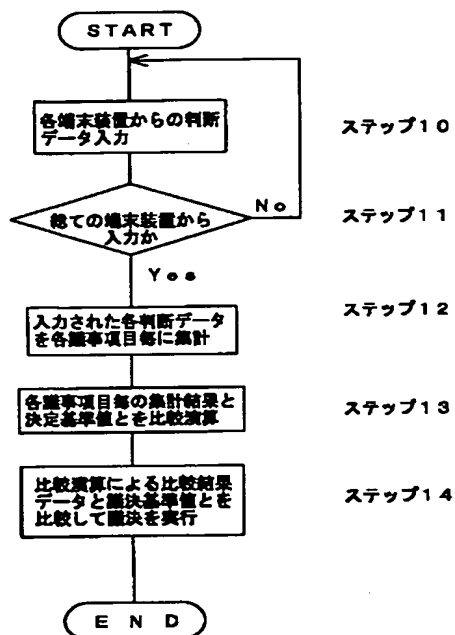
【図1】



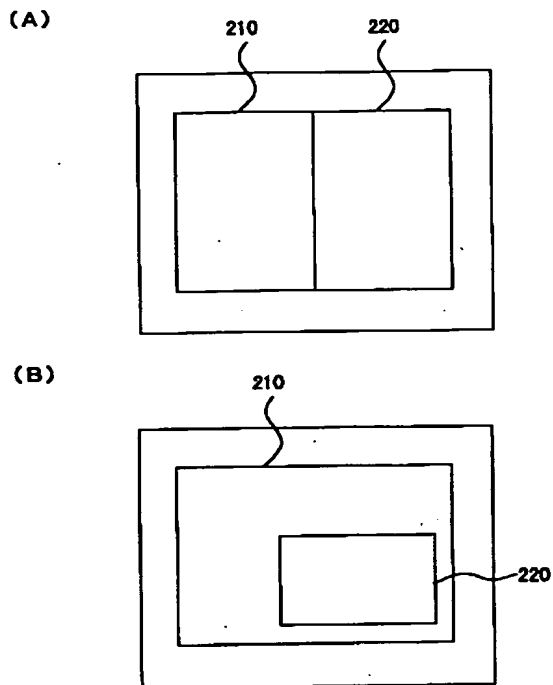
【図2】



【図3】



【図4】



フロントページの続き

(72)発明者 徳安 功
 福岡県福岡市中央区天神1丁目4-1 株
 式会社西日本新聞社内

(72)発明者 川島 季文
 福岡県福岡市中央区天神1丁目4-1 株
 式会社西日本新聞社内

Fターム(参考) 5B075 KK07 PQ02 UU24
 5K030 GA18 HC14 JT02 JT06 KA01
 KA07 LD08 LD17 LE11 MA13
 MC08
 9A001 JJ01 JJ16